

『勇気』 作：ポチ子

『勇気』 作：ポチ子

他の子がしても、

気を付けてねで済まされることが、

私だとダメらしい。

勘違いだ、思い込みだ、

毎日そうやって誤魔化している。

書類の渡し方も、

頼みごとの仕方も、

私がすること全て、

あの人には悪意に見えるらしい。

面倒だから押し付けてきたんでしょ、

何も考えずに頼んでこないで。

出来ないなら最初から言いなさいよ。

押し付けようなんて思ってないし、

何も考えてなかったわけでもない。

それに、この間出来ないっていったら、

怒鳴ってきたのはあなたでしょ。

周りの子を見たら、

同じような言葉を使って、

同じようなことをしてるのに、

私みたく嫌な顔をされたい。

分かった、やっつくね。

怒鳴られることもなく、

簡単に会話が終わる。

どうして私ばかり。

私の言葉に悪意を持たせてるのは、

あの人なのに。

でも、それをおかしいって言い返す勇気もない。

渡せなかった資料を手にとって、

次に怒られるのはいつだろうって考える。